

日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会
代議員各位

日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会
理事長 片山一朗
学術教育委員会委員長 浅田 秀夫

パッチテスト・プリックテストハンズオンセミナー 世話人募集の件

日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会 学術教育委員会は「パッチテスト・プリックテスト ハンズオンセミナー（別添1参照）」を2012年より全国で開催してきました。

今回、2017年度（9月末日まで）に開催する本セミナーの世話人を下記のとおり募集致します。

応募される方は12月2日（金）までに、①氏名・所属、②開催地、③開催希望日の3点を事務局（jsdacd@shunkosha.com）へご連絡ください。

ご多用の折と存じますが、協力賜りますようお願い申し上げます。

記

開催期間：2017年1月～9月末

対象：本学会の代議員

開催回数：3回（応募者多数の場合は先着順と致します）

※なお、応募者が3名を超えた場合は、今回漏れた先生に、2018年開催の世話人として優先的にお願いすることと致します。

世話人の役割：参加者40名（通常）の募集（地域の先生方への開催案内状発送・参加者とりまとめ）

セミナー終了時に世話人としてのご挨拶を頂きます。

※本セミナーの運営準備は共催企業（佐藤製薬株式会社、鳥居薬品株式会社、Smart Practice Japan）が担当します。

パッチテスト・プリックテスト ハンズオンセミナーとは

本セミナーは皮膚テストが多くの皮膚科医の一般診療として定着することを目的に、日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会と企業(佐藤製薬株式会社、鳥居薬品株式会社、Smart Practice Japan)が共催し、2012年より年間2~3回開催しています(別添2参照)。

本セミナーの開催概要は下記の通りで、プログラム構成は午前に接触皮膚炎や食物アレルギーの疾患解説、午後に皮膚テスト(パッチテスト・プリックテスト)の実施方法や判定方法について実技講習を行います(別添3参照)。実技講習では8名程度のグループを作り、経験豊富な講師がサポートします。また、皆さんが日頃抱いているパッチテストについての疑問などにお答えする時間も設けています。

記

参加対象者：原則、日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会会員または皮膚科医

参加人数：約40名(実技を実施しますので参加人数を限定しています)

開催日：日曜日 10:00~16:00

参加費：2,000円

※昼食はお弁当をご用意しています。

参加者には日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会より修了証書を授与致します。

開催地	開催日	世話人所属施設	会場	参加人数
沖縄	2012/01/15	琉球大学	琉球大学 講堂	31名
東北	2012/03/25	東北大学	仙台国際センター	39名
北九州	2013/02/24	産業医科大学	北九州国際会議場	39名
千葉	2013/03/03	千葉大学	千葉大学 講義室	48名
名古屋	2014/02/09	藤田保健衛生大学	藤田保健衛生大学 会議室	33名
北海道	2014/03/23	西さっぽろ皮膚科・アレルギー科	ACU（会議・研修施設）	27名
名古屋	2014/09/07	JSDACD Faculty Seminar-Learning from USA Patch Test Training Workshop	名古屋都市センター	27名
東京	2015/01/25	東邦大学医療センター大森病院	TKP 品川カンファレンスセンター ANNEX	42名
京都	2015/03/29	京都府立医科大学	京都テルサ	39名
名古屋	2015/01/31	Patch Test Advanced Seminar	名城大学名駅サテライト	86名
大阪	2016/03/13	関西医科大学	サンケイカンファレンス大阪梅田	38名
南大阪	2016/09/25	大阪市立大学/藤田保健衛生大学	堺市産業振興センター	33名

プログラム

- 9:30 開場
- 10:00 Opening remark
- 10:05 Pretest
- 10:10 第1部 総論
接触皮膚炎の総論と疫学最新情報
“ハンズオンセミナーの目的やパッチテストの意義”とは
- 10:40 第2部 各論
1. 化粧品：症例を供覧し最近のトピックスをお話しします
- 11:00 2. 金属：意外と難しい判定とそれを活かした食事・生活指導について
- 11:20 休憩
- 11:30 3. 職業・家庭用品：職業性や家庭用品による接触皮膚炎、対応できますか
- 11:50 4. 医薬品・外用剤：知っておきたい薬品のパッチテスト
- 12:10 休憩 昼食配布
- 12:20 5. 食物アレルギーなど（昼食と共に）
- 12:50 休憩・机移動
- 13:00 第3部 実技コーナー
part 1 パッチテスト：実際に試薬を調整して貼ってみよう！
・アレルゲンの貼布
・1%水溶液を作製し貼付する
・持参品を貼付する
part 2 パッチテスト判定：正しい判断基準とは
- 14:00 休憩
- 14:10 part 3 プリックテストを隣の先生とやってみよう！
- 14:50 休憩
- 15:00 Posttest
- 15:05 “皮膚安全性症例情報ネット（SSCI-Net）”について：
皮膚障害例のウェブサイトからの入力方法を説明します
- 15:20 質疑応答：質問箱をご活用ください
- 15:30 Pre・Posttest 解説
- 15:40 感想記入・登録用紙記入
- 15:45 総括・修了書授与式
- 15:55 Closing remarks、記念写真撮影（全員で！）